

部活動 全国大会出場

全国大会出場の部活動の代表生徒にインタビュー。青陵高校の部活動の魅力とは？

陸上競技部

令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 出場



板橋 暖叶さん（陸上競技部 2年 倉敷市立東中学校 出身）

陸上競技部は「不動心」をテーマに掲げ、日々仲間と競い合いながら活動しています。今年は、仲間を始めとする多くの人の支えもあり、「チーム青陵」として輝かしい成績を収めることができました。部員それぞれが目標を設定し、練習に取り組むことで、互いに認め合い高め合える環境ができていると思います。

青陵陸上競技部は、一人一人が「揺るがぬ心」を持つ、絶対にぶれない最高のチームです。

競技かるた部

第45回全国高等学校総合文化祭、第43回全国高等学校選手権大会団体戦 出場



平松 真白さん（競技かるた部 2年 倉敷市立新田中学校 出身）

「畳の上の格闘技」とも称される競技かるたですが、畳の上で一緒に札を囲む、それだけで絆が深まるというのがこの競技の良いところだと思います。「風」のごとく素早く、「林」のごとく静かに、「火」のごとく燃え盛る心を抱いて、「山」のごとく動じない。先輩方が残してくださった全国大会ベスト8という結果に恥じない「風林火山」のような選手となった上で好成績を残せるよう、これからも日々精進して参ります。

光画部

第45回全国高等学校総合文化祭 出場



貝原 賢多さん（光画部 3年 倉敷市立東中学校 出身）

光画部では、昨年秋には尾道へ撮影旅行にいきました。また、青陵祭体育の部では活躍している選手達を間近で撮影でき、たくさんの人に喜んでもらえることは光画部ならではの喜びです。

今回、撮影した写真が評価されたことは非常に嬉しく、総文祭という舞台で全国の高校生と交流し、和歌山県の文化や自然に触れ、たくさん写真を撮ることができたのは忘れられない経験となりました。

今後も気になるものに会った瞬間を逃さず撮ってまいります。

棋道部

第45回全国高等学校総合文化祭 出場



小泉 紀名香さん（棋道部 2年 倉敷市立南中学校 出身）

将棋を指すときに、相手の動きを見ることと一手一手を大切にすることを心がけています。日々の練習でも大会と同じような緊張感で指しています。棋道部に入って良かったことは、負けたときも勝ったときも同じくらい楽しいことです。勝ったときはもちろんですが、負けたときも反省点や改善点が見え、より成長できたと感じます。私たちの目標は、今よりも楽しんで将棋を指すことです。これからの大会も楽しみたいと思います。

中国大会出場

ソフトテニス部

卓球部

剣道部

水泳部

その他の部活動・同好会も、それぞれが活発に活動しています！

S-Press

青陵 Hot Topics 第3号

2021.10.29

中学生の皆さん、こんにちは。倉敷青陵高校です。
この「S-Press 第3号」では、これからの社会を牽引する力を身につけるための「青陵探究」、青陵高校で一番盛り上がる行事である「青陵祭」、そして、大活躍している「部活動」について特集します。皆さんの高校選びの参考にしてください。

青陵高校は「青陵探究」に力を入れています!!

青陵高校の総合的な探究の時間である「青陵探究」では、教科での個別の学びを関連付け、広げ、深め、実践することで「探究思考力」を身につけます。1年生での学びを生かし、2年生では自分の興味関心に合わせたゼミに分かれて研究に取り組みます。今回は、2つのゼミのメンバーに話を聞きました。

歴史探究

研究テーマ 日本の歴史遺産を守るためにできることは？

私たちは、歴史遺産を守ろうとする人々を応援することを目的に活動しています。

現在は、岡山の桃太郎伝説に関する遺産に興味を持ってもらうためにはどうすればよいかを考えながら、映像作成をしています。この度、その映像作品の絵コンテが「観光甲子園」の予選を通過しました。現在は、決勝進出に向けて準備を進めています。



（左から）宇野 早織さん、大橋 佳奈さん、小田原 知哉さん
（浅口市立金光中学校 出身）（倉敷市立東中学校 出身）（井原市立高屋中学校 出身）

映像作成にあたっては、取り上げたい歴史遺産を実際に訪ねて関連する資料を集めました。
吉備津彦命と温羅の伝承や岡山の歴史遺産を、多くの人に親しまれている「桃太郎」とからめながら映像を作成しています。

農業探究

研究テーマ 環境にやさしい農業を広めるためには？

私たちは無農薬栽培や自然栽培の現状を調査しながら、環境にやさしい農業を広めるためにできることを考えています。

これまで高松農業高校の先生から無農薬栽培やハウス栽培について教えていただいたり、実際に自然栽培をしている農家を訪ねたりしながら、現状分析を行いました。自然栽培の良い点や課題を踏まえて、自分たちにできることを考察しています。



（左から）青江 はなさん、藤森 ののかさん、伊藤 史織さん
（倉敷市立船穂中学校 出身）（倉敷市立西中学校 出身）（倉敷市立南中学校 出身）

このテーマに決定した理由は『奇跡のリング』という無農薬栽培についての本を読み、興味を持ったからです。
しかし、実際に農業の現場を訪ねて調査すると、本ではわからなかった自然栽培農家の現状や思いなどがわかりました。

第59回 青陵祭

水天一碧 ～この夏、青に染まれ～

9/8-9 文化の部



9/10 体育の部



文化の部優勝クラスのコメント

展示部門 優勝 代表者 1年生 竹内 洸瑛 さん (倉敷市立福田南中学校 出身)

・展示発表で一番良かったこと・大変だったことは？

私達はファンタジーをテーマに脱出ゲームを作ったのですが、いかにファンタジーな世界観を出して楽しませるのか考えることが大変でした。一番良かったことはクラス全体で楽しみながら展示ができたことです。展示の準備は、一人ではできないことが多く、今まで話したことなかったクラスメイトともたくさん協力しながら進めたので、青陵祭の前よりもクラスの雰囲気が明るくなったと感じます。

・中学生に向けてコメントをお願いします。

僕は青陵高校に入ってみてとても楽しい学校だと感じました。もちろん、勉強や部活など大変なことはいくつもありません。ですが、自分が努力した分だけ楽しめる学校です。みなさんもぜひ青陵高校に来て、来年の青陵祭と一緒に楽しみましょう。



ステージ部門 優勝 代表者 2年生 高瀬 麻衣 さん (新見市立新見第一中学校 出身)

・ステージ発表で一番良かったこと・大変だったことは？

私達のクラスでは、かぐや姫をテーマにしたオリジナルの劇を上映しました。劇中では、日頃の学習内容を取り入れ、衣装や小道具の細部までこだわり尽くすことで独自性のあるものに仕上がりました。今年は緊急事態宣言下での開催となり様々な制限がありましたが、イレギュラーな状態でもクラス全員の努力によって、「誰一人欠けてもこの劇は完成しなかった。」と実感できる集団に成長できたことが大きな収穫です。

・中学生に向けてコメントをお願いします。

青陵高校に入学して、志が高く、様々な分野に長けた仲間に出会って、日々充実した生活を送っています。特に青陵祭ではそんな仲間の活躍から良い刺激を受けると共に、中学生の頃に思い描いていた「青春」を体感することができました。青陵高校は、未知の自身の可能性を追いながら、誰もが輝ける場所だと思います。中学生の皆さん、ぜひ来年の青陵祭と一緒に盛り上げませんか？



優勝ブロック長のコメント

ブロック長 3年生 柴田 祥希 さん (倉敷市立玉島東中学校 出身)

・青陵祭で一番良かったこと・大変だったことは？

緊急事態宣言下での開催となり、練習中に距離をとるように声をかけることが大変でした。それでも、三年生がサポートし、後輩達がついてきてくれたおかげで、最後まで円滑に練習を行うことができました。青陵祭後のブロックでの集会で、「このブロックでよかった人？」ときくと、皆から大きな拍手が返ってきて今までで最高の気分になりました。

・中学生に向けてコメントをお願いします。

青陵祭は、普段勉強を頑張っている青陵生が、「楽しむこと」だけを考えた、青陵高校を語る上では欠かせない3日間です。また、この行事をきっかけに学年の垣根を越えて多くの人と触れ合うことができ、人間としても大きく成長することができます。中学生の皆さん、ぜひ青陵高校でどこよりも楽しい最高の3日間を体験しませんか。



青陵高校のホームページから最新情報をチェック！

今年度は、第1回、第2回のオープンスクールが中止となってしまい、楽しみにして下さっていた皆様には申し訳ありませんでした。中学生の皆さんに青陵高校の魅力を知っていただくため、本校ホームページに特設ページを設置し、学校紹介動画等を公開しています。ぜひチェックしてみてください。

